

未来につなぐ熊野の魅力

日時：平成30年9月5日(水) 14:00～16:30 (開場13:30)

会場：あべのハルカス 25F 大会議室
(大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43)

募集：220名 (事前申込み、先着順)

入場料：1名 1,000円 (当日支払)

※歴史街道倶楽部会員は無料 (本人のみ)

■ 基調講演

「熊野詣で～京都から熊野三山へ」

講師：鳥羽 重宏 師 (城南宮宮司)

平安時代の末、白河上皇らが「熊野詣で」出立の儀式を行われた京都・城南の地から、映像を交えて「熊野詣での魅力」について語る

■ パネルディスカッション

「未来につなぐ熊野の魅力」

上野 顯 師 (熊野速玉大社宮司)

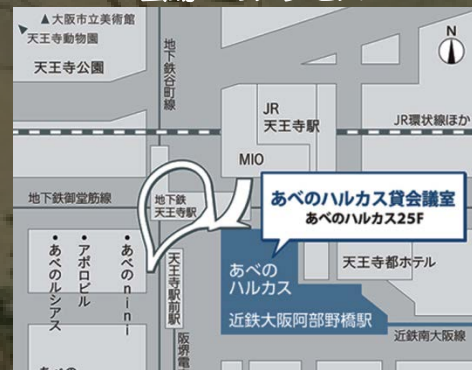
九鬼 家隆 師 (熊野本宮大社宮司)

男成 洋三 師 (熊野那智大社宮司)

高木 亮英 師 (青岸渡寺副住職)

[進行] 田中 利典 師 (金峯山寺長騰)

会場へのアクセス



- 近鉄電車「大阪阿部野橋駅」直結
- JR西日本、地下鉄「天王寺駅」よりすぐ
- 阪堺電軌「天王寺駅前駅」よりすぐ
- 南海電鉄「新今宮駅」よりJR乗換「天王寺駅」
- ◆ 大阪上本町駅より [あべの・上本町巡回バス]

背景：国立国会図書館デジタルコレクション 紀伊道中巻物. 第1巻

<主催> 紀伊山地三霊場会議 <共催> 歴史街道推進協議会

<協賛> 近畿日本鉄道株式会社、南海電気鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社

<後援(予定を含む)> 奈良県、和歌山県、田辺市、新宮市、那智勝浦町、環境省近畿地方環境事務所



熊野本宮大社

■ 紀伊山地三霊場会議

ユネスコ世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」（2004年登録）の登録地である吉野大峯・熊野三山・高野山の三霊場15の登録社寺により、登録五周年を機に設立されました。その目的はそれぞれ登録施設に関わる宗教者の立場から、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の保全と発展に寄与するとともに、「第一の門番」としての役目を果たすことを目指しています。

出演者略歴

鳥羽 重宏 師（とばしげひろ）

京都市生まれ。京都大学卒業、平成元年に伊勢の神宮に奉職。7年より城南宮禰宜、熊野詣で出立の儀式を再興。13年、宮司に就任。著書に『天照大神と天の岩戸開き図鑑—描かれた神々の物語—』、共著に『鳥羽離宮跡を歩く』。

九鬼 家隆 師（くきいえたか）

和歌山県生まれ。1979年國學院大學卒業。明治神宮奉職を経て、熊野本宮大社宮司。和歌山県神社庁長。熊野本宮大社御創健二千五十年奉祝式年大祭の推進協議会顧問など。

高木 亮英 師（たかぎりょうえい）

和歌山県生まれ。比叡山に三年間入山後、1972年龍谷大学卒業。諸國霊山や世界の聖地を巡礼し、1984年から那智山青岸渡寺副住職。熊野大峯奥駈修行や那智四十八滝回峰復活、本年権大僧正昇任。

上野 顯 師（うえのあきら）

和歌山県生まれ。1976年國學院大學卒業。檀原神宮禰宜、熊野速玉大社禰宜を経て、熊野速玉大社宮司。新宮市文化功労賞受賞。紀伊山地三霊場会議総裁

男成 洋三 師（おとこなり ようぞう）

熊本県生まれ。1976年國學院大學卒業。明治神宮奉職から禰宜、権宮司などを経て2016年から熊野那智大社宮司

田中 利典 師（たなかりてん）

1955年、京都府生まれ。龍谷大学卒業。金峯山修験本宗宗務総長を経て、現在、金峯山寺長。種智院大学客員教授。著書に『よく生き、よく死ぬための仏教入門』（扶桑社新書）など多数。

応募方法：ハガキ・FAX・Eメールで下記の事項を明記のうえ、お申込みください。
後日、参加証をお送りします。（事前申込み、先着順）

応募先：〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-2 大阪中之島ビル7F
歴史街道推進協議会「紀伊山地三霊場フォーラム」係

問合せ：歴史街道推進協議会 担当：小野、松浪
Eメール time-trip@rekishikaido.gr.jp TEL 06-6223-7745（平日10～17時）

紀伊山地三霊場フォーラム（H30.9.5）申込書 FAX：06-6223-7234

■ 参加代表者の氏名

■ 電話番号（ ）

■ 歴史街道倶楽部会員番号（ ）

■ 住所 〒

■ 同伴の参加者氏名

（申込書1枚につき 2名様まで）

※歴史街道倶楽部会員は本人のみ無料

※歴史街道倶楽部の方は（ ）に会員番号をご記入ください

■ 歴史街道倶楽部入会案内資料

部 希望（希望される方のみ部数をご記入ください）